

令和9年度

入学者選抜に関する要項



本学への出願方法は、インターネット出願です。学生募集要項については冊子を作成しませんので、以下の URL から閲覧またはダウンロードしてください。

また、各学生募集要項の公表時期については、以下の URL もしくは次ページ「各学生募集要項公表時期一覧表」を確認してください。

【高知県立大学 学部入試情報 学生募集要項ページ】
<https://www.u-kochi.ac.jp/site/nyushi/guide.html>



目 次

1. アドミッション・ポリシー	1
2. 入学定員及び募集人員	6
3. 一般選抜	7
4. 学校推薦型選抜	
【文化学科〔言語文化系/地域文化創造系〕・看護学科・社会福祉学科・健康栄養学科】	14
【文化学科〔文化総合系（夜間主コース）】	16
5. 社会人選抜	
【文化学科〔言語文化系/地域文化創造系〕・看護学科・社会福祉学科・健康栄養学科】	18
【文化学科〔文化総合系（夜間主コース）】	21
6. 私費外国人留学生選抜	23
7. 個別の入学資格審査	25
8. 受験及び修学上の配慮を必要とする場合の事前相談	25

各学生募集要項公表時期一覧表（本学ホームページにて公表）

要 項	公表予定
令和9年度学校推薦型選抜 学生募集要項	令和8年6月上旬
令和9年度文化学科（夜間主コース） 学生募集要項 <学校推薦型選抜・社会人選抜>	
令和9年度社会人選抜・私費外国人留学生選抜 学生募集要項	
令和9年度3年次編入学選抜 学生募集要項 〔文化学科（言語文化系/地域文化創造系）〕・〔文化学科（夜間主コース）〕	
令和9年度一般選抜（前期日程・後期日程） 学生募集要項	令和8年9月上旬

1. アドミッション・ポリシー

高知県立大学のアドミッション・ポリシー

高知県立大学は、幅広い教養及び高度な専門知識、豊かな人間性を備え、地域はもとより広く国内外で活躍することができる能力を有するとともに、平和を希求し、社会に貢献することができる人材の育成をめざしています。

したがって、本学では、次のような人を求めています。

求める学生像

- 1 目標を持って主体的かつ積極的に学び、行動できる人
- 2 豊かな人間性を備え、他者を尊重し、共に学び合おうとする人
- 3 高知県立大学での学びを活かし、地域社会や国際社会への貢献をめざす人

各学部のアドミッション・ポリシー

文化学部 文化学科	<p>文化学部は、人文・社会系諸科学による多角的な文化研究により人間・社会に対する理解を深め、文化の批判的継承を通して豊かな人間性と主体的に行動し得る能力を培い、地域文化の創造と向上に資するとともに、真に豊かな共生社会の実現に向けて国際的に貢献できる市民を養成します。</p> <p>したがって、文化学部では、次のような人を求めています。</p>
	<p>求める学生像</p> <ol style="list-style-type: none">1 人文・社会系諸科学を理解する上で必要な基礎的素養、すなわち高等学校等で履修する主要な教科に関する十分な基礎学力を有している人〔知識・理解力〕2 高等学校等で履修した幅広い基礎的素養を基に、物事を論理的に思考・判断し、これを言語によって適切に表現する能力を備えている人〔思考力・判断力・表現力〕3 人間・社会に広く関心を持ち、言語、地域、観光、法学などの視点から人文・社会系諸科学の専門的知識を身につけたいと考えている人〔関心・意欲・主体性・協働性〕4 人間に対する理解を深め、実践的なコミュニケーション能力を体得し、現代社会の諸課題を主体的に発見・分析・解決するために必要な学習に意欲のある人〔関心・意欲・主体性・協働性〕5 将来、地域社会・国際社会の幅広い分野で豊かな共生社会の実現に向けて活動したいと考えている人〔関心・意欲・主体性・協働性〕 <p>入学者選抜の基本方針</p> <p>■文化学部〔言語文化系／地域文化創造系〕が行う入学者の選抜方法には、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜（県内・全国）、社会人選抜、私費外国人留学生選抜、3年次編入学選抜があります。</p> <p>・一般選抜（前期日程）</p> <p>大学入学共通テストと小論文を課します。大学入学共通テストでは、基礎学力を把握するため、国語、外国語及び受験者が自由に選択できる1教科の計3教科3科目を課します。小論文では、高等学校等での基礎学力を前提に、文化学部で学ぶ上で必要な読解力、論理的思考力、文章表現力、そして日本及び世界の文化についての知識・理解力、併せて英語の読解力、表現力を総合的に評価します。</p> <p>・一般選抜（後期日程）</p> <p>大学入学共通テストと面接を課します。大学入学共通テストでは、基礎学力を把握するため、国語、英語及び受験者が自由に選択できる1教科の計3教科3科目を課します。面接では、文化学部における勉学・研究への熱意・意欲、文化学部で学ぶ上で必要な言語表現力、論理的思考力、判断力、基本的な知識や理解力等を総合的に評価します。面接者は調査書も参考にして質問します。</p>

・学校推薦型選抜（県内・全国）

学校長が推薦する者を対象として、調査書により基礎学力を評価するとともに、小論文と面接を課します。小論文では、高等学校等での基礎学力を前提に、文化学部で学ぶ上で必要な読解力、論理的思考力、文章表現力、課題に対する基礎的知識を総合的に評価します。面接では、文化学部における勉学・研究への熱意・意欲、文化学部で学ぶ上で必要な言語表現力、論理的思考力、判断力、基本的な知識や理解力等を総合的に評価します。面接者は、調査書・推薦書も参考にして質問します。

・社会人選抜

社会人の経験を有する者を対象として、小論文と面接を課します。小論文では、文化学部で学ぶ上で必要な読解力、論理的思考力、文章表現力、そして日本及び世界の文化についての知識・理解力、併せて英語の読解力を総合的に評価します。面接では、志望動機書の内容も参考にして、文化学部における勉学・研究への熱意・意欲、文化学部で学ぶ上で必要な言語表現力、論理的思考力、判断力、基本的な知識や理解力等を総合的に評価します。

・私費外国人留学生選抜

日本国籍を有しない者を対象として、日本留学試験と面接を課します。日本留学試験では、文化学部で学ぶ上で必要な基礎的能力を評価します。面接では、文化学部における勉学・研究への熱意・意欲、文化学部で学ぶ上で必要な言語表現力、論理的思考力、判断力、基本的な知識や理解力等を総合的に評価します。面接者は、志望動機書も参考にして質問します。

・3年次編入学選抜

小論文と面接を課します。小論文では、文化学部で学ぶ上で必要な読解力、論理的思考力、文章表現力、そして日本及び世界の文化についての知識・理解力、併せて英語の読解力を総合的に評価します。面接では、志望動機書の内容、TOEICの結果も参考にして、文化学部における勉学・研究への熱意・意欲、文化学部で学ぶ上で必要な言語表現力、論理的思考力、判断力、基本的な知識や理解力等を総合的に評価します。

■文化学部〔文化総合系（夜間主コース）〕が行う入学者の選抜方法には、学校推薦型選抜（県内）、社会人選抜、3年次編入学選抜があります。

・学校推薦型選抜（県内）

学校長が推薦する者を対象として、調査書により基礎学力を評価するとともに、面接を課します。口頭試問を含む面接では、文化学部における勉学・研究への熱意・意欲、文化学部で学ぶ上で必要な言語表現力、論理的思考力、判断力、基本的な知識や理解力等を総合的に評価します。面接者は、調査書・推薦書・志望動機書も参考にして質問します。

・社会人選抜（A日程・B日程）

社会人経験を有する者又は就業しながら勉学する意思がある者を対象として、小論文と面接を課します。小論文では、文化学部で学ぶ上で必要な読解力、論理的思考力、文章表現力、そして日本及び世界の文化についての知識・理解力を総合的に評価します。面接では、志望動機書の内容も参考にして、文化学部における勉学・研究への熱意・意欲、文化学部で学ぶ上で必要な言語表現力、論理的思考力、判断力、基本的な知識や理解力等を総合的に評価します。

・3年次編入学選抜

小論文と面接を課します。小論文では、文化学部で学ぶ上で必要な読解力、論理的思考力、文章表現力、そして日本及び世界の文化についての知識・理解力を総合的に評価します。面接では、志望動機書の内容も参考にして、文化学部における勉学・研究への熱意・意欲、文化学部で学ぶ上で必要な言語表現力、論理的思考力、判断力、基本的な知識や理解力等を総合的に評価します。



看護学部 看護学科	<p>看護学部は、豊かな人間性と社会の課題に取り組む態度を身につけ、看護の理念や専門的知識・技術、ヒューマニズムを礎として、将来に向かって拓かれた看護を構築し、健康問題を人々と共に解決し、人々の健康生活の創造に貢献ができる豊かな人間性・創造性を持った人材を養成します。</p> <p>したがって、看護学部では、次のような人を求めています。</p> <p>求める学生像</p> <ol style="list-style-type: none">1 幅広い文系・理系の基礎的学力をもつ人〔知識・教養〕2 人間、生活、社会を深く理解する力をもつ人〔思考力・判断力〕3 ものごとを論理的に考える力をもつ人〔思考力・判断力〕4 生涯にわたって学び続ける力をもつ人〔関心・意欲〕5 自分で課題を発見し、計画を立て積極的に取り組む力をもつ人〔主体性〕6 他者を尊重し、協働してものごとに取り組む力をもつ人〔実行力・協働性〕 <p>入学者選抜の基本方針</p> <p>看護学部が行う入学者の選抜方法には、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜（県内・全国）、社会人選抜、私費外国人留学生選抜があります。</p> <p>・一般選抜（前期日程） 大学入学共通テストにより看護学を学ぶ上で必要な基礎的学力を、教科・科目に係る個別テスト等（小論文、面接）により人間や生活・社会、健康や看護などへの関心や思考力、判断力、看護を学ぶことに関する意欲、主体性、実行力、協働性を総合的に評価します。面接者は、調査書も参考にして質問します。</p> <p>・一般選抜（後期日程） 大学入学共通テストにより看護学を学ぶ上で必要な基礎的学力を、教科・科目に係る個別テスト等（面接）により人間や生活・社会、健康や看護などへの関心や思考力、判断力、看護を学ぶことに関する意欲、主体性、実行力、協働性を総合的に評価します。面接者は、調査書も参考にして質問します。</p> <p>・学校推薦型選抜（県内・全国） 学校長が推薦する者を対象として、小論文と面接により人間や生活・社会、健康や看護などへの関心や思考力、判断力、看護を学ぶことに関する意欲、主体性、実行力、協働性を総合的に評価します。面接者は、調査書・推薦書も参考にして質問します。</p> <p>・社会人選抜 社会人の経験を有する者を対象として、小論文と面接により看護を学ぶ上で必要な基礎的学力と、人間や生活・社会、健康や看護などへの関心や思考力、判断力、看護を学ぶことに関する意欲、主体性、実行力、協働性と、社会的経験を通して培った能力を総合的に評価します。面接者は、志望動機書も参考にして質問します。</p> <p>・私費外国人留学生選抜 日本国籍を有しない者を対象として、日本留学試験により日本の大学で看護学を学ぶ上で必要な日本語能力と基礎的学力を、小論文と面接により人間や生活・社会、健康や看護などへの関心や思考力、判断力、看護を学ぶことに関する意欲、主体性、実行力、協働性と日本語による口頭でのコミュニケーション能力を総合的に評価します。</p>
----------------------	---



社会福祉学部は、福祉の現代的課題に対応する、深い人間理解や人権尊重の精神に裏打ちされた専門的知識と実践的知識と実践的技能を教授研究することにより、共感する心と豊かな人間性をもって、社会生活で生じるさまざまな問題に主体的に対応できる福祉の実践能力を修得させ、社会の幅広い分野で福祉の向上に寄与できる有為な人材を養成します。

したがって、社会福祉学部では、次のような人を求めています。

求める学生像

- 1 高等学校等で学ぶ基本的な科目の学力を有する人〔知識・教養〕
- 2 人に対して関心を持ち、協調性を大切にして柔軟に行動できる人〔思考力・判断力・表現力〕
- 3 自ら行動することによって、課題の発見や分析を行うことができる人〔思考力・判断力・表現力〕
- 4 地域や家族の福祉課題に関心を持ち、その解決方法を学びたい人〔熱意・意欲〕
- 5 他者と協働して、人々の生活を支え、よりよい地域社会を創造したい人〔熱意・意欲、主体性・協働性〕

入学選抜の基本方針

社会福祉学部が行う入学者の選抜方法には、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜（県内・全国）、社会人選抜、私費外国人留学生選抜があります。

・一般選抜（前期日程）

基礎学力の把握のため、学部が指定する大学入学共通テスト教科・科目を課すとともに、教科・科目に係る個別テスト等では面接を行います。面接は、課題図書の内容を中心とした個別形式で行います。面接では、社会福祉への熱意・意欲を探り、社会福祉を学ぶ上での適性を判断する観点から、受験者の思考力・判断力・表現力等の様々な能力を総合的に評価します。面接者は、調査書も参考にして質問します。

・一般選抜（後期日程）

基礎学力の把握のため、学部が指定する大学入学共通テスト教科・科目を課すとともに、教科・科目に係る個別テスト等では面接を行います。面接は、自己PR書の内容を中心とした個別形式で行います。面接では、社会福祉への熱意・意欲を探り、社会福祉を学ぶ上での適性を判断する観点から、受験者の思考力・判断力・表現力等の様々な能力を総合的に評価します。面接者は、調査書も参考にして質問します。

・学校推薦型選抜（県内・全国）

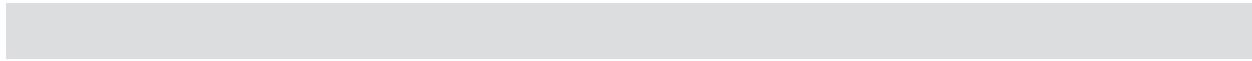
学校長が推薦する者を対象として、調査書により基礎学力を評価するとともに、当日指定するテーマに関するレポート及び集団討論、面接を行います。レポートでは、知識、思考力、表現力等を評価します。集団討論では、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価します。面接では、社会福祉への熱意・意欲を探り、社会福祉を学ぶ上での適性を判断する観点から、受験者の思考力・判断力・表現力等の様々な能力を総合的に評価します。面接者は、調査書・志望動機書・推薦書も参考にして質問します。

・社会人選抜

社会人の経験を有する者を対象として、小論文と面接を課します。小論文では、社会福祉学部で学ぶ上で必要な理解力、論理的思考力、文章表現力及び英文読解力等、高等学校等での学習を前提にした基礎的な学力を総合的に評価します。面接は、志望動機書及び履歴書を中心とした個別形式で行います。面接では、社会福祉への熱意・意欲を探り、社会福祉を学ぶ上での適性を判断する観点から、受験者の思考力・判断力・表現力等の様々な能力を総合的に評価します。

・私費外国人留学生選抜

日本国籍を有しない者を対象として、日本留学試験の日本語と総合科目を課すとともに、面接を行います。面接は、志望動機書の内容を中心とした個別形式で行います。面接では、社会福祉への熱意・意欲や日本語によるコミュニケーション能力を探り、社会福祉を学ぶ上での適性を判断する観点から、受験者の思考力・判断力・表現力等の様々な能力を総合的に評価します。



健康 栄養 学部 健康 栄養 学科	<p>健康栄養学部は、人間や健康の本質を理解しながら、生命の源である「食」を探究し、人々が健康に生活できるよう貢献できる栄養や食生活の専門家を養成することを目的としています。</p> <p>したがって、健康栄養学部では、次のような人を求めています。</p> <p>求める学生像</p> <ol style="list-style-type: none">1 地域社会や人間、健康そして「食」に対して興味・関心を持ち、さらにこれらを探求する意欲のある人〔関心・意欲〕2 物事に主体的かつ積極的に取り組む姿勢をもつ人〔主体性〕3 健康栄養学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき理系科目も含めた基礎的な知識・教養を身につけた人〔知識・教養〕4 幅広い視野と柔軟な感性を有し、今までの知識・教養をもとに論理的な思考によって適切に判断できる人〔思考力・判断力〕5 社会の一員であることを自覚し、他人の立場にたって考えることができ、コミュニケーション能力がある人〔表現力・協働性〕 <p>入学者選抜の基本方針</p> <p>健康栄養学部が行う入学者の選抜方法には、一般選抜（前期日程）、学校推薦型選抜（県内・全国）、社会人選抜、私費外国人留学生選抜があります。</p> <p>・一般選抜（前期日程）</p> <p>大学入学共通テストの国語・数学・理科・外国語を課すとともに、教科・科目に係る個別テスト等では、面接を行います。面接は、プレゼンテーション形式で行い、受験者は与えられたテーマに関して自分の考えを決められた時間内でまとめて、発表（プレゼンテーション）します。面接者は、調査書も参考にして質問し、関心・意欲、知識・教養、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性を評価します。</p> <p>・学校推薦型選抜（県内・全国）</p> <p>学校長が推薦する者を対象として、調査書により基礎学力を評価するとともに、小論文と面接により健康栄養学部で学ぶ上で必要な関心・意欲、知識・教養、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性を評価します。なお、面接は、プレゼンテーション形式で行い、受験者は与えられたテーマに関して自分の考えを決められた時間内でまとめて、発表（プレゼンテーション）します。面接者は、調査書・推薦書も参考にして質問します。</p> <p>・社会人選抜</p> <p>社会人の経験を有する者を対象として、学校推薦型選抜や一般選抜同様、プレゼンテーション形式の面接を行うとともに、高等学校等までの理科・数学の基礎的な学力に関する口頭試問を行うことで、関心・意欲、知識・教養、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性を総合的に評価します。</p> <p>・私費外国人留学生選抜</p> <p>日本国籍を有しない者を対象として、大学での学習に必要な基礎的な日本語能力と数学や理科の知識を評価するために日本留学試験を用います。面接では、理科・数学の基礎的な学力に関する口頭試問を行うとともに、日本語によるプレゼンテーション形式の面接を行います。面接者は、日本留学試験の日本語「記述」答案や志望動機書も参考にして質問します。これらにより、関心・意欲、知識・教養、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性を総合的に評価します。</p>
--	--

2. 入学定員及び募集人員

本学の令和9年度入学者選抜方法には、一般選抜（前期日程及び後期日程）、学校推薦型選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生選抜があります。

文化学部文化学科は、昼夜開講制の学部学科です。昼間での履修を主とする『[言語文化系／地域文化創造系]』と夜間での履修を主とする『[文化総合系（夜間主コース）]』に分けて学生募集を行います。

(単位：人)

学部・学科等		入学定員	募集人員						
			一般選抜 (分離分割方式)		学校推薦型選抜		社会人選抜		私費外国人 留学生選抜
			前期 日程	後期 日程	県内	全国			
文化学部 文化学科	[言語文化系/ 地域文化創造系]	150	72	10	30	8	若干名		若干名
	[文化総合系 (夜間主コース)]		—	—	10	—	A日程 10	B日程 10	—
看護学部 看護学科		80	40	4	28	8	若干名		若干名
社会福祉学部 社会福祉学科		70	35	5	20	10	若干名		若干名
健康栄養学部 健康栄養学科		40	20	—	12	8	若干名		若干名
合計		340	167	19	100	34	10	10	

注) 文化学科 [言語文化系／地域文化創造系]、看護学科、社会福祉学科、健康栄養学科の社会人選抜及び私費外国人留学生選抜の募集人員「若干名」は、一般選抜の前期日程の募集人員に含みます。

3. 一般選抜

(1) 募集人員

学部・学科等	前期日程	後期日程
文化学部 文化学科 [言語文化系/地域文化創造系]	72人	10人
看護学部 看護学科	40人	4人
社会福祉学部 社会福祉学科	35人	5人
健康栄養学部 健康栄養学科	20人	—

(2) 出願資格

次のア～ウのいずれかに該当し、かつ、志望学部・学科が定める令和9年度大学入学共通テストの利用教科・科目（8～11ページ参照）を受験した者。

- ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月31日までに卒業見込みの者
 - イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
 - ウ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条（ただし、第6号を除く。）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- 上記のウに該当する者は、次のとおりです。

- (ア) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (イ) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
 - (ウ) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
 - (エ) 文部科学大臣の指定した者
 - (オ) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの
 - (カ) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者及び令和9年3月31日までに合格見込みの者
 - (キ) 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの
- (注) ウの(キ)で出願する者は、出願前に本学における個別の入学資格審査が必要となりますので、25ページを参照してください。

(3) 入学者選抜方法等

入学者選抜は、令和9年度大学入学共通テストと本学が実施する教科・科目に係る個別テスト等の結果を総合して行います。

大学入学共通テストの利用教科・科目等及び教科・科目に係る個別テスト等の内容については(4)令和9年度高知県立大学一般選抜の実施教科・科目等についてをご覧ください。

(4) 令和9年度高知県立大学一般選抜の実施教科・科目等について

前期日程

学部・学科等	利用教科・科目等			
	教科・科目数	教科	科目名等	
文化学部 文化学科 〔言語文化系/ 地域文化創造系〕	3教科 3科目	国語	『国語』	必須
		地理歴史・公民	『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』* *「地理総合」, 「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。	1科目
		情報	『情報Ⅰ』	
		数学	『数学Ⅰ, 数学A』, 『数学Ⅰ』, 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	
		理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』*, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』 *「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。	
外国語	『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』	1科目		
看護学部 看護学科	5教科 5科目	国語	『国語』	必須
		地理歴史・公民	『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』* *「地理総合」, 「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。	1科目
		情報	『情報Ⅰ』	
		数学	『数学Ⅰ, 数学A』, 『数学Ⅰ』, 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	
		理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』*, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』 *「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。	1科目
外国語	『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』	1科目		
社会福祉学部 社会福祉学科	3教科 3科目	国語	『国語』	必須
		地理歴史・公民	『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』* *「地理総合」, 「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。	1科目
		情報	『情報Ⅰ』	
		数学	『数学Ⅰ, 数学A』, 『数学Ⅰ』, 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	
		理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』*, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』 *「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。	1科目
外国語	『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』	1科目		

学部・学科等	利用教科・科目等				
	教科・科目数	教科	科目名等		
健康栄養学部 健康栄養学科	4教科 4科目	国語	『国語』		必須
		数学	『数学Ⅰ, 数学A』, 『数学Ⅰ』, 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』		1科目
		理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』*, 『物理』, 『化学』, 『生物』 *出題範囲である「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」から2つを選択解答する（「地学基礎」は選択不可）。		1科目
		外国語	『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』		1科目

- (備考) 1 『英語』は「リーディング」・「リスニング」両方を課します。
 2 複数科目受験できる教科を受験した者は、高得点を取得している科目から順に利用科目数を評価の対象とします。

学部・学科等	配点										
	区分	国語	地理歴史	公民	情報	数学	理科	外国語	小論文	面接等	計
文化学部 文化学科 [言語文化系/地域文化創造系]	大学入学共通テスト	200	100					200	—	—	500
	教科・科目に係る個別テスト等	—	—	—	—	—	—	—	200	—	200
	計	200	100					200	200	—	700
看護学部 看護学科	大学入学共通テスト ^(注1)	100	100			100	100	100	—	—	700
	教科・科目に係る個別テスト等	—	—	—	—	—	—	—	200	100	300
	計	700 (5教科5科目)							200	100	1000
社会福祉学部 社会福祉学科	大学入学共通テスト ^(注2)	100	100					100	—	—	400
	教科・科目に係る個別テスト等 ^(注3)	—	—	—	—	—	—	—	—	250	250
	計	400 (3教科3科目)							—	250	650
健康栄養学部 健康栄養学科	大学入学共通テスト	200	—	—	—	200	200	200	—	—	800
	教科・科目に係る個別テスト等 ^(注4)	—	—	—	—	—	—	—	—	210	210
	計	200	—	—	—	200	200	200	—	210	1010

- (注) 1. 看護学科は、国語、地理歴史・公民及び情報^{*}、数学、理科、外国語の5教科のうち、得点の高い2教科を200点に換算します。
^{*}地理歴史・公民及び情報で1教科とみなします。
 2. 社会福祉学科は、国語、外国語及び「地理歴史、公民、情報、数学、理科のうち得点の高い1教科」の3教科のうち、得点の高い1教科を200点に換算します。
 3. 面接は課題図書の内容を中心とします。
 4. 面接はプレゼンテーションを含みます。

- (備考) 1. 大学入学共通テストの外国語（英語）の得点については、「リーディング得点（満点100点）×1.6」と「リスニング得点（満点100点）×0.4」の合計点を各学科の傾斜配点に換算したものとします。なお、リスニング免除の場合は、「リーディング得点」を各学科の傾斜配点に換算したものとします。
 2. 各学科において指定した教科・科目数以上を受験した者は、傾斜配点に換算し高得点の教科・科目を利用します。

後期日程

学部・学科等	利用教科・科目等			
	教科・科目数	教科	科目名等	
文化学部 文化学科 〔言語文化系/ 地域文化創造系〕	3教科 3科目	国語	『国語』	必須
		地理歴史・公民	『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』* *「地理総合」, 「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。	1科目
		情報	『情報Ⅰ』	
		数学	『数学Ⅰ, 数学A』, 『数学Ⅰ』, 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	
		理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』*, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』 *「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。	
		外国語	『英語』	必須
看護学部 看護学科	3教科 3科目	国語	『国語』	3教科 3科目 (注1)
		地理歴史・公民	『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』* *「地理総合」, 「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。	
		情報	『情報Ⅰ』	
		数学	『数学Ⅰ, 数学A』, 『数学Ⅰ』, 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	
		理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』*, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』 *「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。	
		外国語	『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』	
社会福祉学部 社会福祉学科	1教科	国語	『国語』	1科目
	1科目	外国語	『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』	

(注) 1. 看護学科は、国語、地理歴史・公民及び情報※、数学、理科、外国語の5教科から、得点の高い3教科3科目を評価の対象とします。

※地理歴史・公民及び情報で1教科とみなします。

(備考) 1. 『英語』は「リーディング」・「リスニング」両方を課します。

2. 複数科目受験できる教科を受験した者は、高得点を得ている科目から順に利用科目数を評価の対象とします。

学部・学科等	配点										
	区分	国語	地理歴史	公民	情報	数学	理科	外国語	小論文	面接等	計
文化学部 文化学科 〔言語文化系/地域文化創造系〕	大学入学共通テスト	200	100					200	—	—	500
	教科・科目に係る個別テスト等	—	—	—	—	—	—	—	—	200	200
	計	200	100					200	—	200	700
看護学部 看護学科	大学入学共通テスト ^(注1)	300 (3教科各100点)							—	—	300
	教科・科目に係る個別テスト等	—	—	—	—	—	—	—	—	100	100
	計	300 (3教科各100点)							—	100	400
社会福祉学部 社会福祉学科	大学入学共通テスト	*100	—	—	—	—	—	*100	—	—	100
	教科・科目に係る個別テスト等 ^(注2)	—	—	—	—	—	—	—	—	200	200
	計	*100	—	—	—	—	—	*100	—	200	300

(注) 1. 看護学科は、国語、地理歴史・公民及び情報※、数学、理科、外国語の5教科から、得点の高い3教科3科目を評価の対象とします。

※地理歴史・公民及び情報で1教科とみなします。

2. 面接は提出された自己PR書の内容を中心とします。

(備考) 1. 大学入学共通テストの外国語(英語)の得点については、「リーディング得点(満点100点)×1.6」と「リスニング得点(満点100点)×0.4」の合計点を各学科の傾斜配点に換算したものとします。なお、リスニング免除の場合は、「リーディング得点」を各学科の傾斜配点に換算したものとします。

2. 配点に*を付してある教科は、選択教科を表しています。

3. 各学科において指定した教科・科目数以上を受験した者は、傾斜配点に換算し高得点の教科・科目を利用します。

(5) 出願期間

令和9年1月25日(月)～2月3日(水)

(6) 教科・科目に係る個別テスト等実施期日

【前期日程】

文化学科〔言語文化系/地域文化創造系〕：令和9年2月25日(木)

看護学科・社会福祉学科・健康栄養学科：令和9年2月25日(木)、2月26日(金)

【後期日程】

令和9年3月12日(金)、3月13日(土)

(7) 合格者発表

【前期日程】令和9年3月8日(月)

【後期日程】令和9年3月21日(日)

本学池キャンパス玄関に掲示するとともに、合格者には郵送で通知します。また、情報提供の一環として本学のホームページにも合格者の受験番号を掲載します。(掲示及び掲載時刻は、令和8年9月上旬公表予定の「令和9年度一般選抜 学生募集要項」に示します。)

(8) 入学手続期間

【前期日程】 令和9年3月 9 日 (火) ～3月15日 (月)

【後期日程】 令和9年3月22日 (月) ～3月27日 (土)

(9) その他

詳細は、「令和9年度一般選抜 学生募集要項」(令和8年9月上旬公表予定)を参照してください。

4. 学校推薦型選抜

【文化学科 [言語文化系／地域文化創造系]・看護学科・社会福祉学科・健康栄養学科】

(1) 募集人員及び推薦人員

学部・学科等	区 分	募集人員	各高等学校等の推薦人員※
文化学部 文化学科 [言語文化系／地域文化創造系]	学校推薦 (県内)	30人	7人以内
	学校推薦 (全国)	8人	4人以内
看護学部 看護学科	学校推薦 (県内)	28人	5人以内
	学校推薦 (全国)	8人	2人以内
社会福祉学部 社会福祉学科	学校推薦 (県内)	20人	6人以内
	学校推薦 (全国)	10人	3人以内
健康栄養学部 健康栄養学科	学校推薦 (県内)	12人	5人以内
	学校推薦 (全国)	8人	2人以内

※分校は、本校とは別に1校として取り扱います。

(2) 出願資格

ア 学校推薦 (県内) は、高知県内の高等学校等を卒業 (修了) 見込みの者で、次の (ア) ~ (オ) のすべてに該当するもの。

イ 学校推薦 (全国) は、高知県を含む全国の高等学校等を卒業 (修了) 見込みの者で、次の (ア) ~ (オ) のすべてに該当するもの。

(ア) 高等学校若しくは中等教育学校を令和9年3月31日までに卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を令和9年3月31日までに修了見込みの者 (学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和8年4月以降学年の途中において、卒業を認められた者を含む。)

(イ) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者

(ウ) 入学を志望する学科に対し適性を有する者

(エ) 学業成績、人物がともに優れ、学校長が責任をもって推薦する者

(オ) 合格した場合は、必ず本学に入学する意思を有する者

(3) 選抜方法

提出された調査書、推薦書及び本学が実施する試験結果を総合して判定します。大学入学共通テストは課しません。

(4) 配点

学部・学科等	調査書 (注1)	面接 (注2)	小論文	合計
文化学部 文化学科 [言語文化系/地域文化創造系]	100	100	200	400
看護学部 看護学科	100	100	300	500
社会福祉学部 社会福祉学科	50	200 (注3)		250
健康栄養学部 健康栄養学科	50	210 (注4)	100	360

- (注) 1. 全ての学部で調査書は面接の資料としても活用します。
 2. 全ての学部で推薦書は面接の資料として活用します。
 3. レポート 50、集団討論 50、面接 100
 その他の提出書類として志望動機書があり、面接の資料として活用します。
 4. 面接にプレゼンテーションを含みます。

(5) 出願期間

令和8年11月2日(月)～11月9日(月)

(6) 選抜期日

令和8年11月21日(土)、11月22日(日)

(7) 合格者発表

令和8年12月4日(金)

本学池キャンパス玄関に掲示するとともに、合格者には郵送で通知します。また、情報提供の一環として本学のホームページにも合格者の受験番号を掲載します。(掲示及び掲載時刻は、令和8年6月上旬公表予定の「令和9年度学校推薦型選抜 学生募集要項」に示します。)
 可否の判定結果を令和8年12月11日(金)までに学校長に通知します。

(8) 入学手続期間

令和8年12月7日(月)～12月16日(水)

(9) その他

詳細は、「令和9年度学校推薦型選抜 学生募集要項」(令和8年6月上旬公表予定)を参照してください。

【文化学科 [文化総合系 (夜間主コース)]】

文化学科 [文化総合系 (夜間主コース)] は、主に平日の夜間に授業を行います。

(1) 募集人員及び推薦人員

学部・学科等	募集人員	各高等学校等の推薦人員※
文化学部 文化学科 [文化総合系 (夜間主コース)]	10人	5人以内

※分校は、本校とは別に1校として取り扱います。

(2) 出願資格

次のア～カのすべてに該当する者。

ア 高知県内の高等学校等を令和9年3月31日までに卒業見込みの者又は高知県内で通常の課程による12年の学校教育を令和9年3月31日までに修了見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和8年4月以降学年の途中において、卒業を認められた者を含む。）

イ 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者

ウ 入学後就業しながら勉学する意思がある者

エ 文化学科に対し適性を有する者

オ 学業成績、人物がともに優れ、学校長が責任をもって推薦する者

カ 合格した場合は、必ず本学に入学する意思を有する者

(3) 選抜方法

提出された調査書、推薦書及び本学が実施する試験結果を総合して判定します。大学入学共通テストは課しません。

(4) 配点

学部・学科等	調査書 (注1)	面接 (注2)	合計
文化学部 文化学科 [文化総合系 (夜間主コース)]	100	100	200

(注) 1. 調査書は面接の資料としても活用します。

2. 面接に口頭試問を含みます。また、推薦書及び提出された志望動機書は面接の資料として活用します。

(5) 出願期間

令和8年11月2日 (月) ～ 11月9日 (月)

(6) 選抜期日

令和8年11月22日 (日)

(7) 合格者発表

令和8年12月4日（金）

本学池キャンパス玄関に掲示するとともに、合格者には郵送で通知します。また、情報提供の一環として本学のホームページにも合格者の受験番号を掲載します。（掲示及び掲載時刻は、令和8年6月上旬公表予定の「令和9年度文化学部文化学科〔文化総合系（夜間主コース）〕学生募集要項」に示します。）

可否の判定結果を令和8年12月11日（金）までに学校長に通知します。

(8) 入学手続期間

令和8年12月7日（月）～12月16日（水）

(9) その他

詳細は、「令和9年度文化学部文化学科〔文化総合系（夜間主コース）〕学生募集要項」（令和8年6月上旬公表予定）を参照してください。

5. 社会人選抜

【文化学科 [言語文化系／地域文化創造系]・看護学科・社会福祉学科・健康栄養学科】

(1) 募集人員

学部・学科等	募集人員
文化学部 文化学科 [言語文化系／地域文化創造系]	若干名
看護学部 看護学科	若干名
社会福祉学部 社会福祉学科	若干名
健康栄養学部 健康栄養学科	若干名

注) 所定の出願資格を有する社会人に対して入学の機会を設けるものであり、夜間に授業を行うものではありませんので、ご注意ください。一般学生と同じ4年間の教育課程を履修します。

(2) 出願資格

文化学部 文化学科 [言語文化系／地域文化創造系]・**社会福祉学部 社会福祉学科**

文化学科 [言語文化系／地域文化創造系] は、次のア～イのすべてに該当する者。社会福祉学科は、次のア～ウのすべてに該当する者。

ア 次の (ア) ～ (ウ) のいずれかに該当する者

(ア) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(イ) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

(ウ) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条(ただし、第6号を除く。)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
上記の(ウ)に該当する者は、次のとおりです。

a 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

b 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

c 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

d 文部科学大臣の指定した者

e 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)

f 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則(令和4年文部科学省令第18号)による高等学校卒業程度認定審査に合格した者

g 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(注) (ウ) の g で出願する者は、出願前に本学における個別の入学資格審査が必要となりますので、25ページを参照してください。

イ 令和9年3月31日までに満22歳に達し(平成17年4月1日に生まれた者を含む。)、社会人の経験(※)を2年以上有する者

ウ 将来、保健・医療施設や福祉施設等で保健・医療・福祉関係業務に従事することを希望する者

看護学部 看護学科・健康栄養学部 健康栄養学科

次のア～ウのいずれかに該当し、かつ、看護学科は看護職として、健康栄養学科は管理栄養士として、卒業後、社会に貢献する意欲のある者。

ア 次の(ア)～(ウ)のいずれかに該当する者で、令和9年3月31日までに満23歳に達し(平成16年4月1日に生まれた者を含む。)、社会人の経験(※)を5年以上有するもの

(ア) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(イ) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

(ウ) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条(ただし、第6号を除く。)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

上記の(ウ)に該当する者は、次のとおりです。

a 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

b 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

c 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

d 文部科学大臣の指定した者

e 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)

f 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則(令和4年文部科学省令第18号)による高等学校卒業程度認定審査に合格した者

g 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(注) (ウ) の g で出願する者は、出願前に本学における個別の入学資格審査が必要となりますので、25ページを参照してください。

イ 短期大学を卒業後、令和9年3月31日までに満23歳に達し(平成16年4月1日に生まれた者を含む。)、社会人の経験(※)を3年以上有する者

ウ 大学を卒業後、令和9年3月31日までに満23歳に達し(平成16年4月1日に生まれた者を含む。)、社会人の経験(※)を1年以上有する者(大学改革支援・学位授与機構を通じて学士の学位を取得した方も出願できます。)

(注) 看護学科を志望する者のうち看護師免許を有する者は、大学院進学の道もありますので、必ず事前に入試課にご相談ください。

※社会人の経験：企業等の在職者、離職者、家事・家業従事者など。非常勤、パート、アルバイト勤務も含む。なお、夜間・定時制・通信制以外の学校(大学、短期大学、専門学校、予備校等)に在籍していた期間は社会人としての経験に含まない。なお、社会人経験を満たすか判断しかねる場合は、出願期間前に入試課までお問い合わせください。

(3) 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、提出された出願書類及び本学が実施する試験により総合的に判定します。

(4) 配点

学部・学科等	小論文	面接	合計
文化学部 文化学科 [言語文化系/地域文化創造系]	100 (注1)	100	200
看護学部 看護学科	300 (注2)	100	400
社会福祉学部 社会福祉学科	100 (注3)	100	200
健康栄養学部 健康栄養学科	—	200 (注4)	200

- (注) 1. 英文資料による出題となります。(辞書持ち込み不可)
2. 英文や多様な質問形式を含みます。(辞書持ち込み不可)
3. 英文資料の読解を含みます。英和辞典1冊(電子辞書不可)の持ち込みを認めます。
4. プレゼンテーション及び高等学校等までの理科・数学の基礎的な学力に関する口頭試問を含みます。

(5) 出願期間

令和8年10月1日(木)～10月9日(金)

(6) 選抜期日

令和8年11月22日(日)

(7) 合格者発表

令和8年12月4日(金)

本学池キャンパス玄関に掲示するとともに、合格者には郵送で通知します。また、情報提供の一環として本学のホームページにも合格者の受験番号を掲載します。(掲示及び掲載時刻は、令和8年6月上旬公表予定の「令和9年度社会人選抜 学生募集要項」に示します。)

(8) 入学手続期間

令和8年12月7日(月)～12月16日(水)

(9) その他

詳細は、「令和9年度社会人選抜 学生募集要項」(令和8年6月上旬公表予定)を参照してください。

【文化学科 [文化総合系 (夜間主コース)]】

文化学科 [文化総合系 (夜間主コース)] は、主に平日の夜間に授業を行います。

(1) 募集人員

学部・学科等	募集人員	
	A日程	B日程
文化学部 文化学科 [文化総合系 (夜間主コース)]	10人	10人

(2) 出願資格

次のアに該当し、かつ、イ又はウに該当する者。

ア 次の(ア)～(ウ)のいずれかに該当する者

(ア) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月31日までに卒業見込みの者

(イ) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者

(ウ) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条(ただし、第6号を除く。)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者

上記の(ウ)に該当する者は、次のとおりです。

a 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

b 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者

c 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者

d 文部科学大臣の指定した者

e 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの

f 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則(令和4年文部科学省令第18号)による高等学校卒業程度認定審査に合格した者及び令和9年3月31日までに合格見込みの者

g 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの

(注) (ウ)のgで出願する者は、出願前に本学における個別の入学資格審査が必要となりますので、25ページを参照してください。

イ 令和9年4月1日において社会人の経験(※)を1年以上有する者

ウ 現に就業し又は就業の意思があり、入学後就業しながら勉学する意思がある者

※社会人の経験：企業等の在職者、離職者、家事・家業従事者など。非常勤、パート、アルバイト勤務も含む。なお、夜間・定時制・通信制以外の学校（大学、短期大学、専門学校、予備校等）に在籍していた期間は社会人としての経験に含まない。

(3) 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、提出された出願書類及び本学が実施する試験により総合的に判定します。

(4) 配点

学部・学科等	小論文	面接	合計
文化学部 文化学科 [文化総合系（夜間主コース）]	100	100	200

(5) 出願期間

【A日程】令和8年11月2日（月）～11月9日（月）

【B日程】令和9年1月25日（月）～2月3日（水）

(6) 選抜期日

【A日程】令和8年11月22日（日）

【B日程】令和9年2月25日（木）

(7) 合格者発表

【A日程】令和8年12月4日（金）

【B日程】令和9年3月8日（月）

本学池キャンパス玄関に掲示するとともに、合格者には郵送で通知します。また、情報提供の一環として本学のホームページにも合格者の受験番号を掲載します。（掲示及び掲載時刻は、令和8年6月上旬公表予定の「令和9年度文化学部文化学科 [文化総合系（夜間主コース）] 学生募集要項」に示します。）

(8) 入学手続期間

【A日程】令和8年12月7日（月）～12月16日（水）

【B日程】令和9年3月9日（火）～3月15日（月）

(9) その他

詳細は、「令和9年度文化学部文化学科 [文化総合系（夜間主コース）] 学生募集要項」（令和8年6月上旬公表予定）を参照してください。

6. 私費外国人留学生選抜

(1) 募集人員

学部・学科等	募集人員
文化学部 文化学科 [言語文化系/地域文化創造系]	若干名
看護学部 看護学科	若干名
社会福祉学部 社会福祉学科	若干名
健康栄養学部 健康栄養学科	若干名

(2) 出願資格

次のア～エのすべてに該当する者。

ア 日本国籍を有しない者で、日本国の永住許可を得ていないもの

イ 次の(ア)～(オ)のいずれかに該当する者

(ア) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(イ) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者

(ウ) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者

(エ) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

(オ) 看護学部看護学科及び社会福祉学部社会福祉学科は、外国において学校教育における9年の課程を修了後、日本の高等学校に在学し、高等学校を卒業したもの(令和9年3月31日までに卒業見込みの者を含む。)

ウ 日本学生支援機構が実施する「2026年度日本留学試験」において、志望学部・学科が指定する次の科目を受験した者

学部・学科等	指定科目 [] 内は出題言語
文化学部 文化学科 [言語文化系/地域文化創造系]	日本語(「読解」「聴解・聴読解」「記述」)・総合科目〔日本語〕
看護学部 看護学科	日本語(「読解」「聴解・聴読解」)・数学又は理科〔日本語〕※
社会福祉学部 社会福祉学科	日本語(「読解」「聴解・聴読解」「記述」)・総合科目〔日本語〕
健康栄養学部 健康栄養学科	日本語(「読解」「聴解・聴読解」「記述」)・数学又は理科〔日本語〕※

※数学は、「コース1」「コース2」のどちらかを選択するものとします。

理科は、「物理」「化学」「生物」から2科目を選択(科目指定なし)するものとします。

数学と理科の両方を受験した場合は、高得点の科目を判定に使用します。

エ 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者及び取得できる見込みの者(「留学」以外の在留資格を持つ者は、出願できない場合がありますので事前に照会してください。)

(注) 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)を卒業した者又は同等以上の資格を取得した者、及び令和9年3月31日までに卒業(取得)見込みの者は、この入試には出願できません。(上記(オ)に該当する者は除く。)

ただし、外国の教育機関における修学を主としてきた者で、日本の高等学校に編入し、修了又は修了見込みで、一般選抜による受験が著しく困難と認められる場合は「私費外国人留学生選抜」への出願を認める場合がありますので、該当すると思われる方は出願期間前に必ず入試課までお問い合わせください。

(3) 選抜方法

日本留学試験（23ページの「(2) 出願資格」ウ参照）及び本学が実施する試験の結果並びに出願書類を総合して判定します。大学入学共通テストは課しません。小論文及び面接は、日本語により行います。

(4) 配点

学部・学科等	日本留学試験	小論文	面接	合計
文化学部 文化学科 [言語文化系/地域文化創造系]	325*	—	300	625
看護学部 看護学科	300*	150	150	600
社会福祉学部 社会福祉学科	325*	—	300	625
健康栄養学部 健康栄養学科	325*	—	300(注)	625

*日本留学試験の得点は、各学科の傾斜配点に換算します。

(注) プレゼンテーション及び理科・数学の基礎的な学力に関する口頭試問を含みます。

(5) 出願期間

令和8年12月11日（金）～12月18日（金）

(6) 選抜期日

令和9年1月10日（日）

(7) 合格者発表

令和9年1月22日（金）

本学池キャンパス玄関に掲示するとともに、合格者には郵送で通知します。また、情報提供の一環として本学のホームページにも合格者の受験番号を掲載します。（掲示及び掲載時刻は、令和8年6月上旬公表予定の「令和9年度私費外国人留学生選抜 学生募集要項」に示します。）

(8) 入学手続期間

令和9年1月27日（水）～2月5日（金）

(9) その他

詳細は、「令和9年度私費外国人留学生選抜 学生募集要項」（令和8年6月上旬公表予定）を参照してください。

7. 個別の入学資格審査

一般選抜及び社会人選抜の出願資格において、本学における個別の入学資格審査が必要な場合は、以下により資格審査の申請を行ってください。なお、申請者は、申請前に入試課までお問い合わせください。

(1) 申請書類

- ア 入学資格認定申請書（本学所定様式：本学ホームページよりダウンロードしてください。）
- イ 履歴書（学歴及び職歴を記載したもの）
- ウ その他の書類
 - (ア) 在学機関の長の発行による在学期間を証明する書類
 - (イ) 単位を取得した機関の長の発行による、履修した教科・科目等及び修得した単位数を証明する書類
 - (ウ) 在学した教育機関の教育課程を説明する書類（学則、履修規程等）の写し
 - (エ) 就労先の長が発行する審査申請時の直近の就労を証明する書類
 - (オ) 就労期間を通算する全就労にかかわる就労職務の内容を説明したもの
 - (カ) 資格等（公的機関等が認定する資格等）を有することを証明する書類

※ 申請者により提出書類が異なりますので、詳細はお問い合わせください。

(2) 申請期間

- ア 令和8年7月 2 日（木）～8月21日（金）
- イ 令和9年1月18日（月）～1月21日（木）
（イは、令和9年度大学入学共通テスト受験者に限る。）

(3) 申請書類の提出先及び問い合わせ先

高知県立大学 教育・学生支援部入試課
〒781-8515 高知市池2751番地1 （電話 088-847-8789）

※ 郵送の場合は、封筒表面に「大学入学資格認定申請」と朱書きのうえ、必ず書留郵便としてください。

8. 受験及び修学上の配慮を必要とする場合の事前相談

障害を有する等、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、出願に先立ち、あらかじめ入試課（Tel：088-847-8789）に相談してください。

補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合も事前相談が必要です。

なお、事前相談は、受験者に大きな負担となったり、他の受験者に比べて不利になったりしないよう配慮するために行うものであり、相談により受験者に不利益を与えるものではありません。

（相談の方法及び申し出の締め切り期限は、各学生募集要項に示します。）

出願・受験・その他に関する問い合わせ先

〒781-8515 高知市池2751番地1
高知県立大学 教育・学生支援部 入試課
電 話 088-847-8789
FAX 088-847-8733
E-mail nyushi@cc.u-kochi.ac.jp
URL <https://www.u-kochi.ac.jp/>

受 付 時 間
月～金曜日（祝日を除く） 9時～17時

万一落丁等があった場合は、上記までご連絡ください。